

埼玉県特集



小川 修一 会長

埼玉県情報サービス産業協会

当協会は4月に、県知事の認定を受けた地域経済振興と情報高度化推進を目的とする情報サービス産業団体であり埼玉県唯一の公益社団法人として、新発足した。

東日本大震災復興や円高克服のためのポイントとして、IT投資の増加による情報システム高度化が挙げられている。革新的な象徴ともいえるIT技術は、あらゆる領域に活用され、課題解決と成長戦略の鍵となるだろう。我々情報サービス産業界はその役割がますます社会的に大きくなっていくと考えている。活動すべきだと考えている。IT活用による地域振興・情報高度化のため、公益社団法人として諸活動を積極的に推進していきたい。

IT活用による地域振興推進



後関 博 会長

埼玉県信用保証協会

埼玉県信用保証協会は、「親切・迅速・丁寧」をモットーに、コンサルティング機能を強化し、県内中小企業の経営支援に取り組む。金融円滑化法の期限を来年3月に控え、急増した条件変更先の出口戦略が重要と

また、企業ごとに専任担当者を配し、各種相談などに応じる企業担当者制を整備した。これからはさまざまな形で、中小企業を支援することが増えるだろう。知恵を絞り、企業、金融機関、当協会の3者にとつての名案を考えていきたい。

コンサルティングを強化



星野 進 会長

埼玉県中小企業団体中央会

埼玉県内中小企業は、東日本大震災の影響に加え、海外経済の減速、円高、増税、電気料金引き上げなどさまざまな懸念を抱え、多難な状況に陥っている。今こそ県内中小企業は、中小企業組合の下に英知を結集し、協同の力で苦境を打開していくべきだ。

埼玉県中小企業団体中央会では、「立ち上がる中小企業を支援する」をキャッチフレーズとし、県内9200中小企業組合の専門支援機関として、支援活動の中核をなす巡回訪問などを通じ、事業の再構築や新規事業創出を積極的に支援する。また、ビジネスチャンス拡大などにつながるための「組合間連携」も、強力に推進したい。

組合間連携 強力に推進

外郭団体
トップに
聞く

「連携と創造」新分野へ参画



松永 功 会長

埼玉商工会議所連合会

東日本大震災から1年が経過したが、復旧・復興の足取りが重い中、電気料金や消費税の引き上げなど中小企業にとって不安材料の多い状況が続いている。このような中で一番求められるものは、「連携と創造」だと思う。

埼玉県商工会議所連合会は昨年10月に、埼玉大学と産学連携などを目的とした包括協定を締結した。また、各商工会議所は関係機関と連携を深め、中小企業の経営革新や創業支援、国際化支援などに力を入れている。このような厳しい時代では、既成の価値観にとらわれずに新しい分野に連携と創造で参画していくことが必要だ。このエネルギーこそが明るい展望を引き寄せる源だと信じている。

提言とフォローアップ



荻野 芳朗 代表幹事

埼玉経済同友会

当会は埼玉県経済の発展に資する提言活動、会員相互の啓発を目的とした勉強会や研究会、活動などを展開している。昨年度は埼玉県に対し、①中小企業の人づくりとソリューション力の強化を狙った「イノベーション」を指す。

当会は2013年11月14日に創立30周年を迎える。総務企画委員会の中に「創立30周年記念事業部会」を設置し、さらなる地域貢献活動を推進する。

地域密着型の企業経営に



海沼 春男 代表理事

埼玉中小企業家同友会

東日本大震災から1年。当会内で4半期ごとに実施している景況調査では、売上げが震災以前の水準に戻ったとの結果が出ている。しかし、2012年度の見通しについて多くの会員企業は悲観的だ。大手企業をはじめとして生産の海外移管が加速することとが予測され、加えて、本部機能の海外移転を実施する企業が一部で出てきたことが背景にある。

中小企業家同友会では、大手企業の戦略からなるべく離れた独自の技術やビジネスモデルを構築し、内需を形成する地域密着型の経営に事業をシフトする企業づくりを提唱する。これにより、来るべき産業構造の大転換に備えたいと思う。

スピード感ある支援展開



江田 元之 理事長

さいたま市産業創造財団

さいたま市の経済諸施策と連動し、また、関連機関との連携を強化しながら、スピード感ある支援を展開していく。

具体的には、さいたま市デューニカルブランド認定企業を中心に、企業の海外展開や医療・環境など新成長産業分野への参入を支援する。同時に、ビジネスプランコンテストの開催やコミュニケーションビジネスなどの支援を通じ、地域や社会に貢献するニュービジネスの育成にも取り組んでいきたい。

地域に根ざした活動継続



大久保 義海 会長

埼玉県商工会連合会

日本経済をけん引しつつ、安心・安全の街づくりや文化の担い手として活動する中小・小規模事業者は、東日本大震災の影響、円高、エネルギー供給問題などにより、自助努力では克服困難な厳しい経営環境にある。

当会では、「地域応援宣言!!」のキャッチフレーズの下、商工会が地域に根ざした唯一の総合経済団体としての役割を果たすため、会員・非会員を問わず巡回訪問する企業訪問隊、青年部の子ども見守り隊、女性部の温暖化防ぎ隊などの活動を各商工会と協力しながら推進している。今後もこれら諸活動を通じ、震災後の新たな時代に中小・小規模事業者が自立的発展を遂げ、地域に元気がみなぎるよう、全力を注ぎたい。

コーディネーター機能強化



西村 和義 会長

埼玉県経営者協会

円高、高い法人税率、自由貿易協定締結の遅れ、経済のグローバル化に伴う新興国の台頭、人口減少社会の到来に伴う内需の低迷などにより、企業を取り巻く経営環境は厳しさを増している。

こつた状況下で持続的成長を図るには、従来の延長線上の施策だけでは不十分。グローバル化の積極的な対応や、産業構造の変革を踏まえた技術革新およびビジネスプロセス革新など、まさにイノベーションを実現していくことが必要となる。

県、国、大学など多方面の「知の集団」をつなぐコーディネーターとしての機能を強化し、企業と地域の課題解決に向け、諸活動を積極的に推進していきたい。

物産・観光相互に相乗効果



山崎 嘉正 会長

埼玉県物産観光協会

東日本大震災から1年が経過し、東北地方を中心に日本は強い絆の下、確実に復興の道を歩んでいる。復興への歩みの中で、「ボランティアツアー」や「応援物産展」など、地域の活性化に観光や物産が果たす役割が盛んになってきた。地域を越えた交流も始まり、頼もしく感じられた。また、今年度から組合事務局に中国語・英語・日本語が話せる若手人材を採用した。新戦線として活躍してくれそう。

我々の業界が生存していくためには、もつくり日本と言われない現状に甘んじることなく技術革新の時代に取り残されないよう力を注ぐ必要がある。今年度も、上部組織の全国産金工業組と連携しながら、業界を盛り上げていきたい。

若手の活躍、新戦力に期待



仁科 俊夫 理事長

埼玉県産金工業組合

東日本大震災の復興需要の影響もあり、トラック中心とした自動車関連が好調であるほか、ホンダの寄居工場が来年稼働予定、大いに期待している。

近年、組合の若手を中心に構成する青年部「埼銀会」の活動が盛んになってきた。地域を越えた交流も始まり、頼もしく感じられた。また、今年度から組合事務局に中国語・英語・日本語が話せる若手人材を採用した。新戦線として活躍してくれそう。

我々の業界が生存していくためには、もつくり日本と言われない現状に甘んじることなく技術革新の時代に取り残されないよう力を注ぐ必要がある。今年度も、上部組織の全国産金工業組と連携しながら、業界を盛り上げていきたい。

ビジネス戦略拠点
さいたま市

SAITAMA CITY, The Gateway to Your Success



さいたま市PRキャラクター

さいたま市は、優れた立地特性とビジネス環境を兼ね備えた東日本のゲートウェイです。立地から事業活動まで企業の皆様のビジネスチャンス実現をさめ細やかにサポートします。

光学機器・レンズ製造業の出荷額は全国1位、医薬品製造業の出荷額は全国3位を誇っています。

光学機械器具・レンズ製造業 製造品出荷額政令指定都市順位		
1位	さいたま市	63,171
2位	相模原市	11,833
3位	横浜市	4,063
全国合計		650,161
(単位: 百万円)		
資料: 「平成21年 工業統計調査」		

医薬品製造業製造品 出荷額政令指定都市順位		
1位	大阪市	664,483
2位	神戸市	141,102
3位	さいたま市	108,826
全国合計		7,398,518
(単位: 百万円)		
資料: 「平成21年 工業統計調査」		



技術の先端を走るさいたま市の企業

さいたま市テクニカルブランド企業

SAITAMA CITY CERTIFIED TECHNOLOGY BRAND COMPANIES

企業の更なる競争力向上を支援し、さいたま市を元気にします。

さいたま市が、技術の独創性・革新性に優れた技術を持つ市内の研究開発型企業を「さいたま市テクニカルブランド企業」として認証する制度です。

認証企業については下記ホームページにて掲載しています。

さいたま市経済局経済部産業展開推進課 TEL: 048-829-1349 (直通)

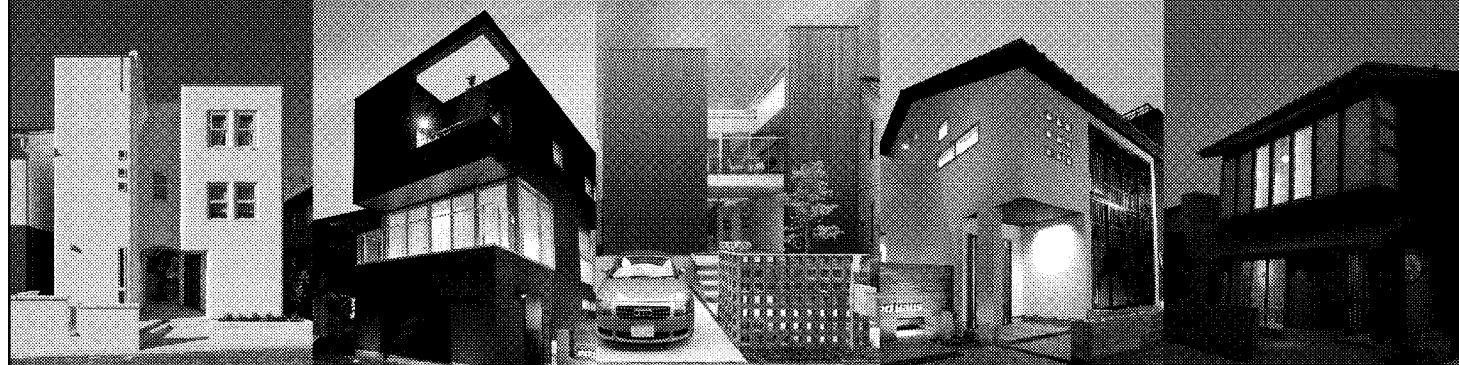
http://www.saitamacity-business.jp

思い通りに生きるために。
思い通りの家をつくる。

「思いを実現した家」公開中

ポラスの注文

検索



都内第2弾!「練馬ICハウジングギャラリー」に、ポラスの展示場オープン!

ポラスで、注文住宅という選択。POLUS

住まい価値創造企業

ポラスグループ

GOOD DESIGN ポラスグループは、9年連続グッドデザイン賞を受賞しています。ポラス株式会社 埼玉県越谷市南越谷1-21-2 Tel.048-989-9119 (宅建業士交通大臣(10)第2401号(特)中央住宅)